

データシート

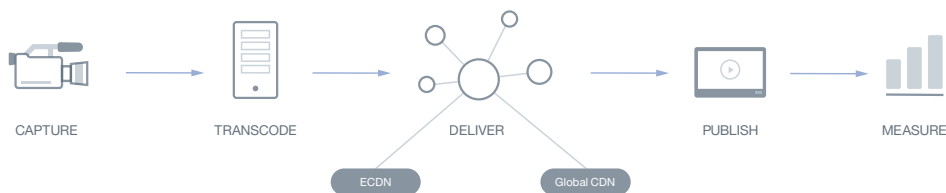
IBM Cloud Video Enterprise Content Delivery Network

社内ビデオを大規模に配信する

IBM Cloud Video Enterprise Content Delivery Network

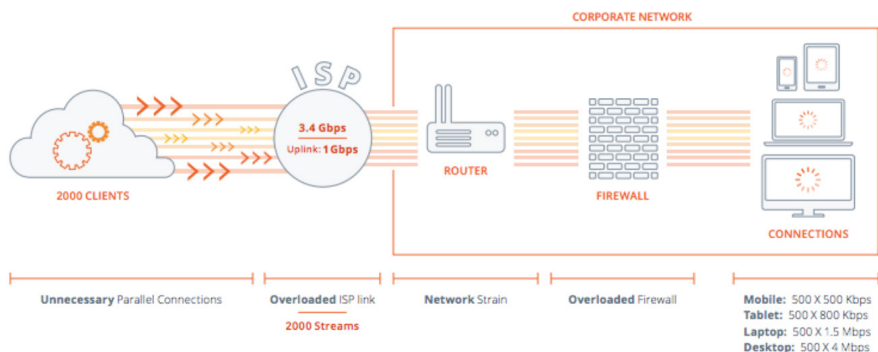
IBM® Cloud Video の Enterprise Content Delivery Network (ECDN) で、貴社の組織ネットワーク内の1箇所または数箇所へのストリーミングビデオの配信に伴うボトルネックを緩和することができます。

How Enterprise Content Delivery Network works

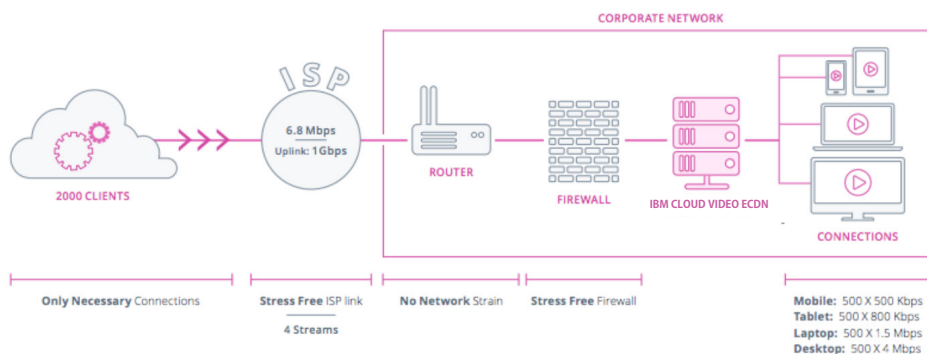


ECDN エッジは仮想アプライアンスとして配信され、コーポレートネットワーク内で、ターゲットとなる聴衆の近くに展開されます。その結果、ECDN によって、ISP リンクを通じてダウンロードされ、社内のローカルネットワークで配布する必要のあるストリームの数が減少します。

IBM Cloud Video ECDN 2000 クライアントユースケースなしの場合



IBM Cloud Video ECDN 2000 クライアントユースケースありの場合



機能

IBM Cloud Video ECDN は、複雑なコーポレートネットワーク環境内で大規模なストリーミングビデオの視聴者層をサポートできるように構築されており、組織が、自社内のみに高品質のビデオコンテンツを配信できるように、接続数のマスキューリングを提供します。

ISP リンクのネットワークの混雑を緩和する

高価な ISP リンクのアップグレードをせずに、時折発生するトラフィックの急増から貴社組織を保護します。

ビデオ画質の向上、バッファの問題なし

低品質のビデオやバッファリングを我慢する必要はありません。明瞭な画質で動きのなめらかなビデオを配信しましょう。

経費の節約

ネットワーク容量のアップグレードが必要となる時期を先延ばしすることができます。場合によっては、その必要がまったくなくなる可能性もあります。

低メンテナンス

ECDN エッジは、機能のアップデートと同期して自動的にアップグレードされます。

パフォーマンスのモニター

ノードの健全性チェックが表示され、同時に使用しているユーザーが表示されます。IT 管理者は、ECDN フリートを設定して、ネットワークやメモリや CPU やディスクの利用率などの有益な測定基準にアクセスできます。これはすべて管理者ポータルから行なうことができます。

ファイヤーウォールのサポート

ECDN と、ポート 80 (HTTP) とポート 443 (HTTPS) を必要とするファイヤーウォールを併用すると、ネットワーク外まで開放することができます。開く際にインバウンドポートは必要ありません。

複数のインスタンスをインストールする

1つの ISP や複数の ISP のサポートだけでなく、世界中に広がった複数のオフィスを抱える業界のサポートまで拡張することができます。

モバイル配信

クラウドトランスコーディングを介してデスクトップ機器やモバイル端末での閲覧をサポートするので、HLS (HTTP Live Streaming) ストリームを配信することができます。

自動ルーティングロジック

世界中に広がるネットワーク上での通常の配信をほぼ中断することなく、適切なノードから各視聴者に向けてビデオコンテンツを配信します。

管理機能の内蔵

タブレットを含む現代型ブラウザでアクセスできるウェブベースのパネルを通じて、ECDN の展開を管理します。



・ タウンホールミーティング



研修



社内会議

クラウドのインストールと設定

IBM Cloud Video ECDN は、VMware ESXi™、Citrix XenServer®、Microsoft Hyper-V® など、Open Virtualization Format をサポートするハイパーバイザーである仮想プラットフォームで実行される仮想アプライアンスです。ECDN エッジのインストールに要する時間はほんの数分間で、既存のハードウェア上に展開できます。

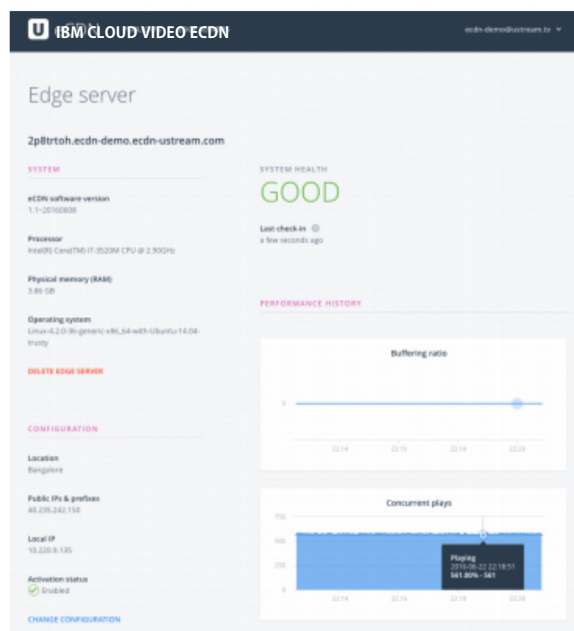
開発ステップ



評価とポータル

ECDN の展開前に、IBM Cloud Video は、コーポレートネットワークのトポロジを検証し、オフィスロケーションあたりの従業員数、パブリック IP アドレス、利用可能な帯域幅など各種情報を収集します。これはソリューションを設計する上で必要な条件となります。IBM Cloud Video は、これらの情報に基づいて、展開アーキテクチャ案を作成し、カスタマーポータルをプロビジョニングします。

ECDN フリートはカスタマーポータルを通じて管理されます。インストーラーの実行後に、エッジが、パブリック IP アドレスとロケーションに割り当てられます。IBM® Cloud Video Streaming Manager プラットフォームは、このパブリック IP アドレスを使用して有効な顧客を識別します。



システムの要件

ハードウェア環境	専用か共有かの別
ハイパーバイザー	OVF サポートのあるハイパーバイザー (例、VMware ESXi™、Microsoft Hyper-V®、Citrix XenServer®)
OS	このアプライアンスは、Ubuntu Linux 14.04 LTS OS 仮想マシンとして配信されます。
メモリ	最小要件: 4GB 推奨メモリ容量: 16GB
ネットワークインターフェイス	1Gbit/s か 10Gbit/s を推奨
インスタンスあたりの最大 推奨視聴者数	1Gbit/s NIC の場合は約 200 人 10Gbit/s NIC の場合は約 2,000 人
インバウンドインターネット 接続帯域幅	インバウンドストリームバージョンのビットレート合計 例: 次の3つの解像度のある1チャンネル: 1.5Mbit、3Mbit、8Mbit 平均ビットレート: 12.5Mbit
アウトバウンド LAN 接続帯域幅	同時視聴者数*ストリームビットレート + オーバーヘッド 例: 同時視聴者数 500 人、3 Mbit/s の平均ビットレートの場合、1.5Gbit/s + 約 10% のオーバーヘッド = 1.65Gbit/s のアウトバウンド帯域幅が必要

まとめ

IBM Cloud Video の ECDN と IBM Cloud Video Streaming Manager for Enterprise を併用することで、ローカル接続の渋滞を心配せずに、特定の視聴者を狙ったビデオアセットを作成することができます。全員参加会議などの従業員通信を実現することができ、オフィス内とオフィス外の従業員全員をターゲットにすることができます。ECDN は、個々の設定やコーポレートネットワークの渋滞を懸念することなく、企業を支援するステークホルダーと従業員向けに限定コンテンツを配信できる総合社内ビデオソリューションを提供します。

IBM Cloud Video

IBM Cloud Video では、世界中に、スケーラブルで信頼できるビデオストリーミングサービスを提供しています。IBM Cloud Video は、確実なビデオ機能や抜群のコグニティブ機能を組み合わせて、現在利用できる最も包括的なビデオオフリングを提供します。IBM Cloud Video の詳細については www.ibm.com/cloud/video にアクセスしてください。



© Copyright IBM Corporation 2017
IBM Corporation
Route 100
Somers, NY 10589

アメリカ合衆国にて制作
2017年1月

IBM、IBM のロゴ、ibm.com、UStream は、International Business Machines Corp. の登録商標で、世界中で多数の管轄区域で登録されています。他の製品名やサービス名は IBM または他の企業の商標である可能性があります。IBM の商標の最新リストは ibm.com/legal/copytrade.shtml の「著作権と商標の情報」でご覧いただけます。

Linux は、米国、諸外国またはその両方における Linus Torvalds の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows のロゴは、米国、諸外国またはその両方における Microsoft Corporation の商標です。

本書に記載の情報は初版発行日の時点で最新ですが、IBM によって随時変更されることがあります。IBM が事業を展開しているすべての国で全部のオフリングが入手できるとは限りません。

本書の情報は、商品性、特定目的への適合性、権原、および非侵害についての保証および条件のすべてを含め、明示暗示を問わず、一切の保証なしに「現状まま」で提供されます。

IBM 製品は、製品提供の際に締結された契約の条件・条項に基づいて保証されます。

確実なセキュリティ実施に関する宣言文：ITシステムセキュリティでは、貴社内外からの不正なアクセスに対する予防や検知や応答によるシステムや情報の保護が行なわれず、不正なアクセスによって、情報が改変・破壊・横領・不正使用され、その結果、他者に対する攻撃を含むシステムの破損や不正使用が発生することがあります。いかなる IT システムや IT 製品もまったく安全あるとは見なせません。また、どんな製品やサービスやセキュリティ対策も、単体では、不正使用や不正アクセスの防止に対して完全に効果を発揮することはありません。IBM のシステムや製品やサービスは、合法的総合セキュリティアプローチの一部を成すよう設計され、必要に応じて追加操作手順が行なわれ、その効果を高めるべく他のシステムや製品やサービスが必要となる場合があります。IBM では、任意のシステムや製品やサービスが、いかなる当事者による有害な行動や非合法的な行動を受けるおそれがないこと、もしくは、それを受けないことを可能ならしめることを一切保証いたしません。